

講師：河原 数馬

## <学習内容>

- ▶新政府の外交
- ▶近代的な国際関係
- ▶自由民権運動の高まり
- ▶立憲国家の成立

## 新政府の外交

### ■岩倉使節団

1871年、新政府は<sup>いわくらともみ</sup>岩倉具視を代表とする**岩倉使節団**を欧米に派遣した。

⇒使節団は国力の充実が必要であると痛感した。



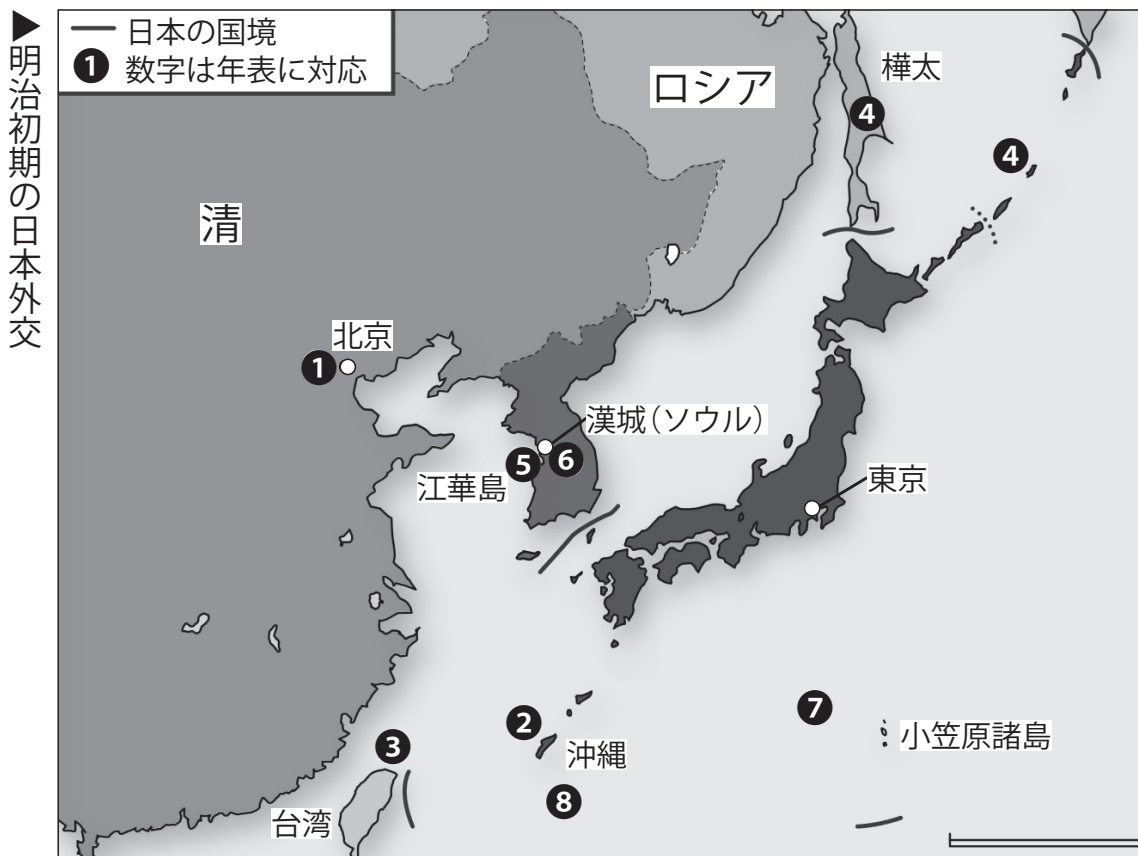
◀ 岩倉使節団

# 近代的な国際関係 ①

## ■ 清と朝鮮国との関係

### ① 清との関係

日本と清は対等な立場での条約（にっしんしゅうこうじょうき日清修好条規）を結ぶ（1871年）。



1871：日清修好条規①

1872：琉球藩の設置②

1874：台湾に出兵③

1875：樺太・千島交換条約④

江華島事件⑤

1876：日朝修好条規⑥

小笠原諸島の領有⑦

1879：沖縄県の設置⑧

## 近代的な国際関係 ②

### ② 朝鮮国との関係

・ 日本政府内では武力で朝鮮の開国をせまる主張（**征韓論**）が高まっていたが、欧米から帰国した岩倉使節団が反対した。

⇒ 征韓論を主張していた西郷隆盛と板垣退助が政府を去った（1873年）。

・ **江華島事件**… 江華島に侵入した日本の軍艦に対して朝鮮側が砲撃した事件（1875年）。

・ **日朝修好条規**… 日本と朝鮮国との不平等条約（1876年）。



◀ 西郷隆盛



◀ 板垣退助



◀ 江華島事件

## 近代的な国際関係 ③

### ■ 沖縄県の設置

りゅうきゅうおうこく

琉球王国（現・沖縄県）は薩摩藩（現・鹿児島県）に事実上支配されながらも、清にも従っていた。

日本政府は 1872 年に琉球藩<sup>りゅうきゅうはん</sup>を置き、日本の領土とした。

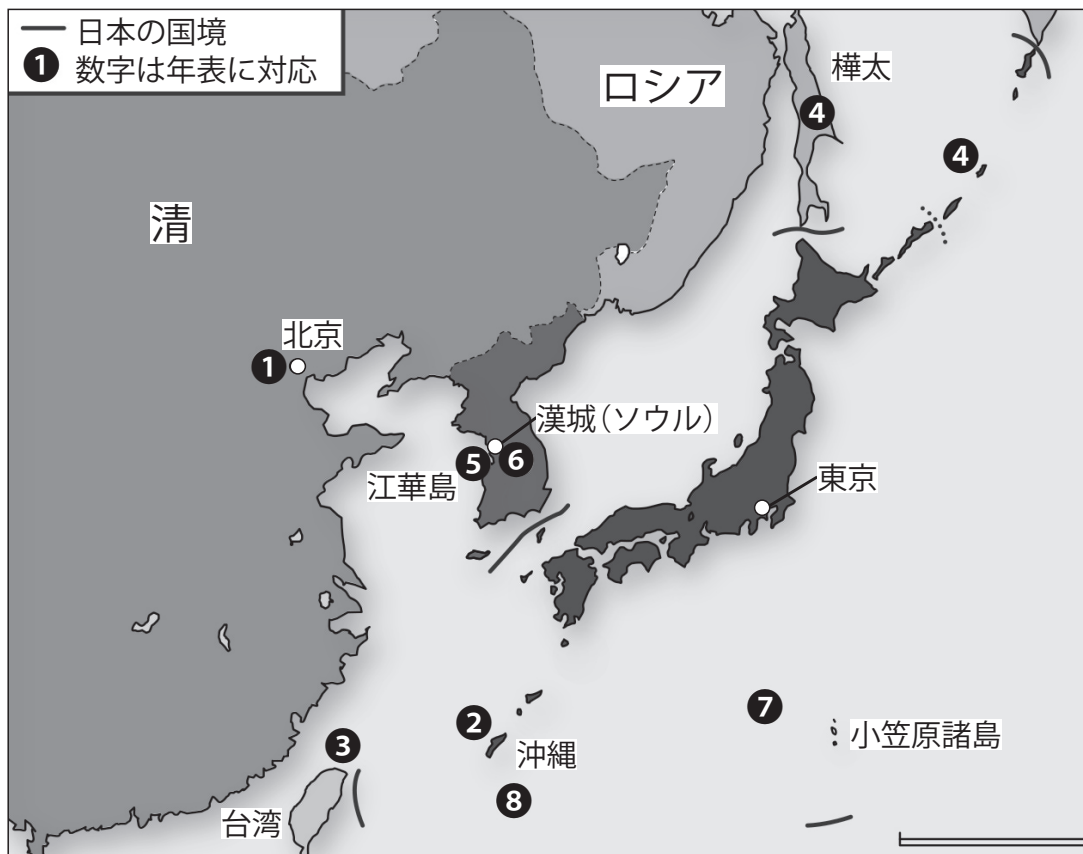
1879 年には軍隊の力を背景に琉球<sup>りゅうきゅう</sup>の人々の反対をおさえつけて、  
沖縄県を設置した（琉球処分<sup>りゅうきゅうしよぶん</sup>）。

### ■ ロシアとの関係

日本はロシアと樺太<sup>からふと</sup>・千島<sup>ちしま</sup>交換条約を締結し、樺太<sup>からふと</sup>をロシア領、  
千島列島<sup>ちしま</sup>を日本領とした。

## 近代的な国際関係 ④

▶ 明治初期の日本外交



1871：日清修好条規①

1872：琉球藩の設置②

1874：台湾に出兵③

1875：樺太・千島交換条約④

江華島事件⑤

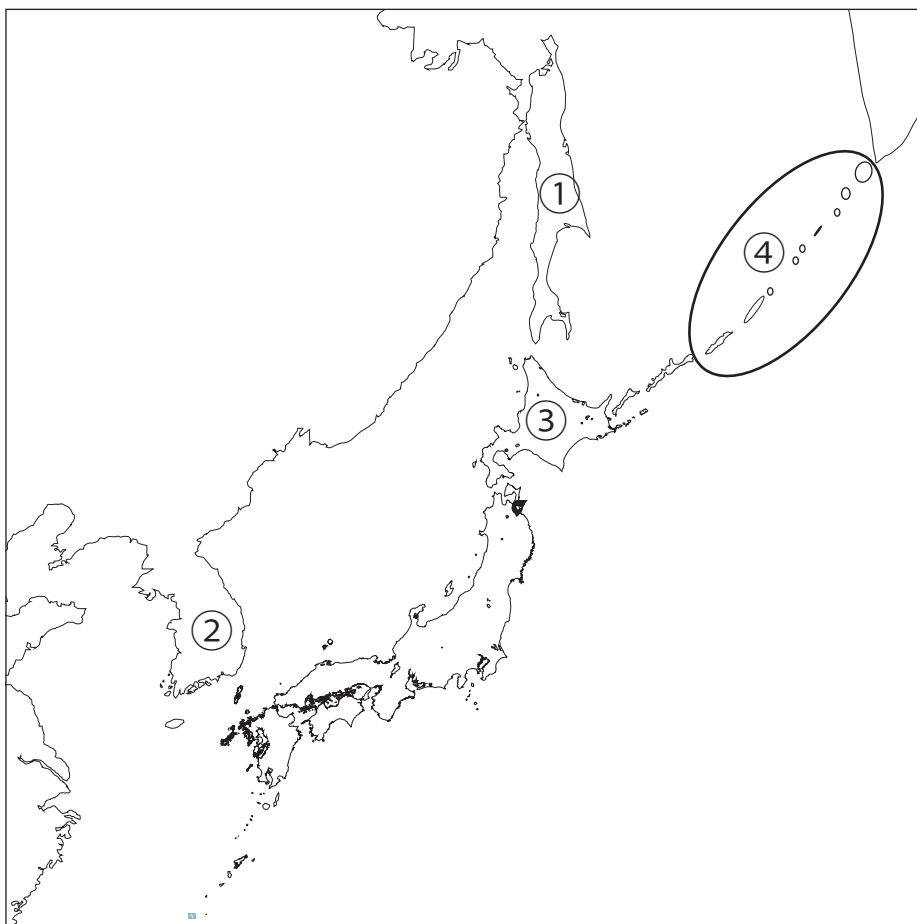
1876：日朝修好条規⑥

小笠原諸島の領有⑦

1879：沖縄県の設置⑧

## 史料問題

日本は、1875年にロシアとの間で樺太・千島交換条約を結んだ。この条約で日本が得た領土はどこか、地図中の①～④から一つ選びなさい。



④



## 並べかえ問題

次の①～③は、明治以降の日本と朝鮮の関係についてのべたものである。①～③を古い順に並べかえなさい。

- ① 江華島事件が起こる。
- ② 西郷隆盛や板垣退助の征韓論に対して、岩倉使節団のメンバーが反対する。
- ③ 日朝修好条規が結ばれる。

② → ① → ③



## 自由民権運動の高まり ①

### ■政府への不満

西郷隆盛と板垣退助は、武力をもって朝鮮を開国させることを主張した（征韓論）。しかし、<sup>いわくらともみ</sup>岩倉具視などが反対したため、西郷や板垣は政府を去った。



▲西郷隆盛



▲板垣退助

## 自由民権運動の高まり ②

⇒① **板垣退助**は、政府の政治を専制政治であると批判して、  
みんせんぎいん  
**民撰議院設立の建白書**を提出した（1874年）。

② 西郷隆盛は、政府に不満を持つ士族とともに西南戦争を起  
こした（1877年）。



◀西南戦争（政府軍）



◀西南戦争（西郷隆盛と部下）

## 自由民権運動の高まり ③

### ■高まる自由民権運動

- ① 1880年に、全国の民権運動の代表者が大阪に集まり、  
こっかいきせいどうめい  
**国会期成同盟**が結成された。
- ② 1881年に、政府は10年後に国会を開くことを約束した  
(ちよくゆ  
国会開設の勅諭)。
- ③ 国会開設に向けて、いたがきたいすけ  
**板垣退助**を党首とする**自由党**、  
おおくましげのぶ  
**大隈重信**を党首とする**立憲改進黨**が結成される。



▲大隈重信

## 史料問題

史料は 1874 年に板垣退助が政府に提出した文章である。  
この史料に関して、次の(1)～(2)の問に答えなさい。

私たちが<sup>つつし</sup>謹んで現在の政権のことを考えますに、…政府の命令が多すぎ、…政治刑罰が不公平で、賞罰も人の好き嫌いで決められています。言論の道もふさがれて、私たちの苦しみを伝える方法がありません。…これを救う道を考えましたが、国内に公の言論を<sup>おこ</sup>興すほかはありません。それに（ ）を設立するのが第一です。つまり、官僚の権力を制限してこそ、上下ともに安全と幸福が得られます。…人民で租税を払う義務のある者は政治に参加し可否を論じる権利があります。…



- (1) 史料中の ( ) に入る語句を漢字 4 字で答えなさい。
- (2) 板垣退助がこの資料を政府に提出した理由として最も適切なものを①～④の中から一つ選びなさい。
- ① 中央集権的な政治をおこなうため。
  - ② 外国と結んだ不平等条約を改正するため。
  - ③ 財政を安定させるため。
  - ④ 一部の人間に政治を独占させていては、国民の意見を政治に反映させることができないと考えたため。

(1) みんせんぎいん 民撰議院 (2) ④

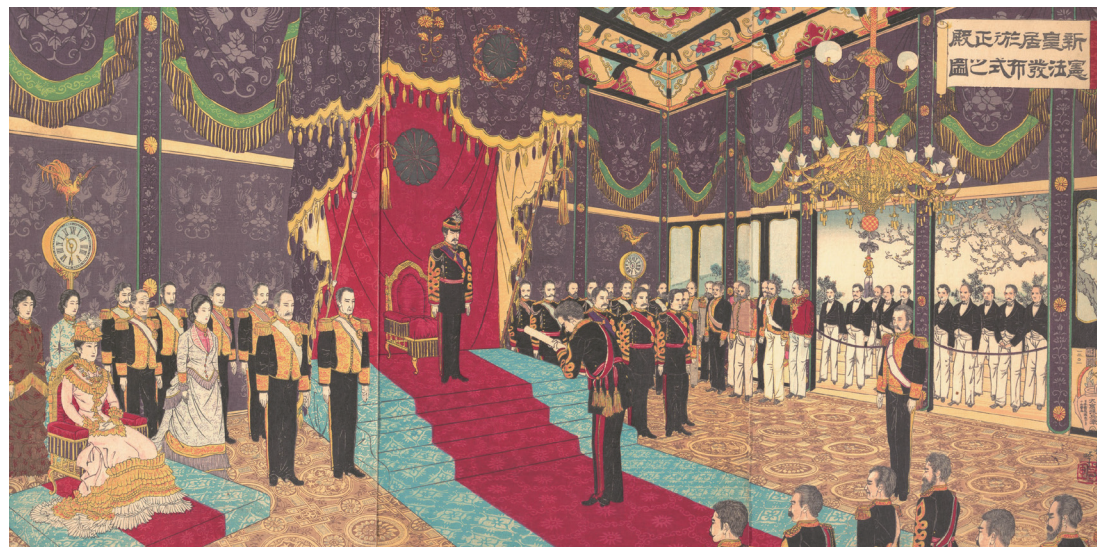
# 立憲制国家の成立 ①

## ■内閣制度

1885年に内閣制度ができると、伊藤博文は初代内閣総理大臣(首相)になった。

## ■大日本帝国憲法

1889年2月11日、天皇が国民に与えるという形で大日本帝国憲法が發布された。

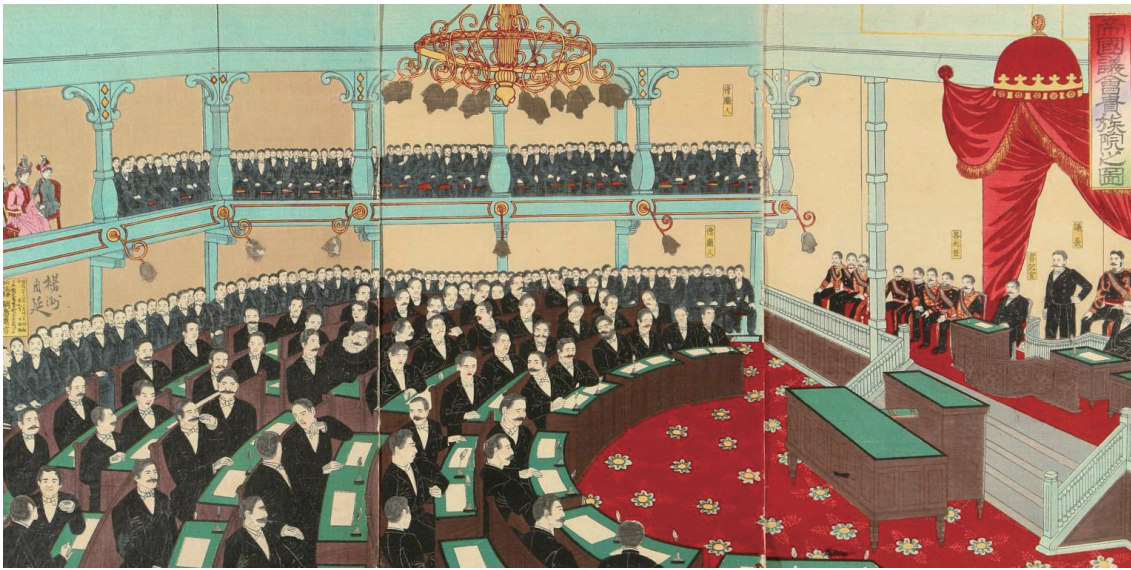


▲大日本帝国憲法發布の図

## 立憲制国家の成立 ②

### ■ 帝国議会の開設

**帝国議会**は貴族院と衆議院からなり、貴族院は天皇から任命された議員により構成され、衆議院は国民によって選挙された議員からなっていた。



▲ 帝国議会（貴族院）



## 立憲制国家の成立 ③

### ■最初の衆議院選挙

1890年に最初の衆議院議員選挙がおこなわれた。

選挙権が与えられたのは、直接国税を15円以上おさめる満25歳以上の男子だけであった（総人口の1.1%）。